

うすらひのうすらわらひの水たまり	うすら氷の時々刻々や流れつつ	解けやすきものにうすら氷花結び
うすらひの薄さうす氷の厚さ	うすら氷の時々刻々を惜むべく	健やかにうすら氷うかぶ日影かな
うすら氷が消えて明るい水たまり	うすら氷の時々刻々を流れつつ	湖に大きな春の氷あり
うすら氷でありたることも忘れけり	うすら氷の針を集めし如きあり	透明な瘡蓋状のうす氷
うすら氷と水の葛藤滲みつつ	うすら氷はうす氷よりなほうすく	日当りてよりうすら氷のめそめそと
うすら氷に手を貸すことも出来ぬまま	うすら氷は初めてと云ふ水の様	薄氷は日当る場所を得たりけり
うすら氷に雪の白さはなかりけり	うすら氷も水も乾いてなくなりぬ	薄氷や切株の上を滑り落つ
うすら氷のうち重なりて壊れけり	うすら氷や水に浮きつつ水となる	流されの旅は短し薄氷
うすら氷のすべてはもとの水たまり	うすら氷や魔法が解けてゆくやうに	瘡蓋のやうな薄氷剥がすべし
うすら氷のちかくを水のとほりけり	うすら氷や眩しくなれば目をつむり	
うすら氷のぱりぱり乾く水たまり	うすら氷を見てやる他に術もなし	
うすら氷のもうもやもやの水たまり	うすら氷を二枚重ねにしてやりぬ	
うすら氷の影にも差してゐる日かな	うすら氷を柄杓で除けて漱ぐ	
うすら氷の解けてもやもやしてゐたる	さざ波のうすら氷となる闇夜かな	
うすら氷の解けてもわつとしてゐたる	もやもやのやがてうやむや薄氷	
うすら氷の解けゆくまでのうす情	やすらかにうすら氷うかぶ日蔭かな	
うすら氷の割れても水に沈まざる	飴玉は舌のなすまま春氷	

うすら氷のまだもやもやとしてゐたる

うすら氷のすべてはもとの水たまり

うすら氷を二枚重ねにしてやりぬ

うすら氷の時々刻々を流れつつ

うすら氷のちかくを水のとほりけり

うすら氷を見てやる他に術もなし

透 明 な 瘡 蓋 状 の 薄 氷

うすら氷や水に浮きつつ水となる

うすら氷の解けてもわつとしてゐたる

うすら氷や呪文が解けてゆくやうに

うすら氷のぱりぱり乾く水たまり

流されの旅は短し薄氷

うすら氷でありたることも忘れつつ

うすら氷も水も乾いてなくなりぬ

薄氷や切株の上を滑り落つ

うすら氷のめそめそとある日向かな

飴玉は舌のなすまま春氷

薄氷は日当る場所を得たりけり

うすら氷に手を貸すことも出来ぬまま

うすら氷の影にも差してゐる日かな

うすら氷を柄杓で除けて漱ぐ

やすらかにうすら氷うかぶ日蔭かな

うすら氷の針を集めし如きあり

うすら氷や眩しくなれば目をつむり

解けやすきものにうすら氷花結び

うすら氷が消えて明るい水たまり

うすら氷はうす氷よりなほうすく

うすら氷と水の葛藤滲みつつ

うやむやに消えてしまひし薄氷